

平成 31 年 3 月 25 日

各家族会 会長各位

岐阜県精神保健福祉会連合会
理事長 山田 偉雄

ぎふかれん情報 3月号

ぎふかれん情報昨年(平成30年)の9月号以降中断致していました。
各地で桜の便りが聞かれ、随分と暖かくなりましたが、皆様にはご健勝のことと拝察いたします。

平成31年1月以降の行事を報告致します。

●1月18日(金)

第3回理事会 10:00~12:00

- ・甲州・東海ブロック高山大会 事業報告と会計の承認
H30年11月9・10日 高山市民文化会館 参加者 391名
県・飛騨圏域の市村や事業所・家族会のご援助・ご支援を頂き、また広告収入など
病院・事業者・一般企業等から予想を超えるご支援を頂き、盛会に開催できました。
(詳細省略)
- ・次回は「みんなねっと全国大会兼愛知ブロック大会(刈谷市)」2019年11月7・8日に開催。
- ・ぎふかれんの執行体制 副理事長 久保田→野々 会計 前田→恩田
- ・県大会の今後 31年度は県大会無。32年度以降は、県の啓発委託事業(知ってもらいたい心の病・福祉研修会)との関連で検討。
- ・印刷機の購入 共同募金会からの助成(75%)。
- ・ぎふかれん誌 61号発行済み。62号(増刊号)として、高山大会の伊藤先生・加藤先生・「知ってもらいたい心の病」(12月22日)の野村先生の講演。
3月上旬に発行配布。

第1回電話相談事業レベルアップ研修会 13:00~15:30

講師：障がい者差別解消支援センター 今村留美専門相談員
岐阜県障がい者差別解消支援センターでの電話相談についての実態を説明頂いた。
13名出席 参加者は、ぎふかれんでの電話対応者、各家族会での電話対応者(各家族会の担当者・会長)とした。

●2月7日（木）

第1回みんなねっと愛知大会 実行委員会開催

愛知県連（あいかれん）の事務局がある白壁庁舎内の会議室にて。山田出席
みんなねっと愛知大会実行委員会運営要綱を採択。

委員長をあいかれん会長 高柳氏とする。

みんなねっと愛知大会を31年11月7・8日 刈谷市で開催予定。

ベルギーから担当者を招へいし、欧米の地域医療等をうかがう。

分科会は5分科会を予定。 次回実行委員会の開催を4月22日とする。

●2月14日（木）

平成30年度「第回岐阜県障がい者施策推進会議」 山田出席

議題

1. 平成30年度社会参加推進に関する取り組み状況について

- ・岐阜県障がい者スポーツに関する取り組み

○障がい者スポーツ大会事業費 7,939千円

- ・障がい者スポーツ春大会「清流スポーツ大会」
- ・障がい者スポーツ秋大会「ドリームスポーツ大会」
- ・その他

○障がい者スポーツ振興事業補助金（17,514千円）

- ・岐阜県障害者スポーツ協会運営費
- ・障がい者スポーツ普及促進事業
- ・成績優秀者・功労者の表彰

○長良川ふれあいマラソン大会支援費（1,200千円）

○愛護ふれあいバス事業費補助金（障がい者スポーツ分）（1,523千円）

2. スポーツを行うための環境整備費

- ・障がい者用体育館等施設整備事業費（1,028,361千円）

岐阜県福祉友愛アリーナ

1階 テーブルテニス 更衣室・シャワールーム

2階 屋外テニス バスケット バレーボール バトミントン ボッチャ

シッティングバレー 等コート

- ・友愛プール管理運営費（88,192千円）

3. アスリート育成・強化

- ・パラリンピックを目指すアスリート科学サポート事業
- ・パラリンピックを目指すアスリート強化支援事業
- ・障がい者アスリート育成支援事業費補助金

4. 平成 30 年度 県障がい者芸術文化に関する取組

○岐阜県障がい者芸術文化支援センター設置費（7,000 千円）

岐阜県障がい者芸術支援センターが 30 年 7 月 6 日に開設されました。

- ・アートサポーター育成 ・相談事業
- ・発表等の機会の創出 オープンアトリエ：7 回

○ぎふ清流プラザ等芸術振興補助金（20,000 千円）

- ・ふれあいハートフルステージ等
- ・芸術教室の開催 H30 年度 12 回開催（各圏域開催）
- ・障がい者ふれあい福祉フェアの開催 ・障がい者アートバンク事業
- ・障がい者文化芸術コーディネータの設置 ・芸術家派遣事業

他多数

岐阜県障がい者芸術文化支援センター協力委員会の会員として

中村 剛（ぎふかれん顧問）に担当いただいております。絵画等に興味のある方は、中村様(058-233-3702)までご連絡ください。

5. 平成 30 年度 岐阜県障がい者の雇用・就労に関する取組

平成 29 年 6 月 1 日現在の雇用率 2.02%（全国平均 1.97%）

○一般就労拡大の推進

- ・精神障害者雇用促進事業 H27 年度より中濃圏域にモデル配置している「精神障害者支援ワーカー」を各圏域に
- ・障がい者雇用企業支援センター運営事業 ・障がい者チャレンジ就労促進事業
- ・障がい者就労支援オフィス運営費 ・障がい者雇用拡大事業
- ・障がい者農業の雇用モデル支援事業

○福祉的就労の充実

- ・セルフ支援センター運営費補助 ・社会就労推進工賃向上計画推進事業
- ・福祉メディアステーション運営費補助 ・障がい者農業参入チャレンジ事業等沢山の事業が展開されている。

6. 平成 31 年度 障がい福祉関連の主要事業（案）

大半が継続・拡充事業のうち新規を中心に精神障害者に関連のあるもの等を記載

●安心して暮らせる社会環境づくり

○障がい者の人権尊重と心のバリアフリー

- ・障がい者差別解消普及事業 ・ヘルプマーク普及促進事業
- ・福祉を支える地域社会の構築
- ・パーキング・パミット制導入「新規」
- ・岐阜県障がい者総合就労支援センター整備等事業主
- ・県立障がい者職業能力開発校整備等事業「新規」→平成 32 年 4 月開講予定
- ・福祉・介護人材マッチング支援事業

- ・ 障害福祉人材育成・資質向上事業「新規」
- 社会参加を進める支援の充実
 - ・ 発達障がい支援担当教員養成事業「新規」
 - ・ 障がい者雇用企業支援センター事業 ・ 障がい者雇用促進事業費
 - ・ 農福連携推進活動事業費補助 ・ 障がい者就業・生活支援センター事業費
 - ・ 農福連携推進活動事業
- 日常生活を支える福祉の充実
 - ・ 精神障がい者の地域包括ケアシステム構築推進事業「新規」
 - ・ 発達障がい児者支援の充実 この分野には多くの事業が準備されています。
 - ・ 難病関連 省略 手話関連 省略

「かがやきオフィス」として、障がい者の民間企業へのステップアップ就労として雇用、週 30 時間、時間給 850 円、原則 1 年で、企業へ就職斡旋としている。30 年度は 8 名（知的・精神障害者）を事務作業員として県庁で採用している。今年も採用する。との説明があった。9：00～16：00 までの勤務は精神障害者にはきついのではと思われる。

●2月22日（金）

平成 30 年度第 2 回岐阜県障がい者総合支援懇話会

1. 地域における相談支援体制について
 - 基幹相談支援センターの設置状況（市町村の半分設置）、
 - 地域生活支援拠点等の整備状況（ほとんど未設置）（緊急時の対応等の機能を持つ）
2. 障がい福祉人材の育成
 - 人材養成研修 定員を増加（相談支援従事者、サービス管理責任者、重度訪問看
事者、強度行動障がい支援者の研修。サビ管のフォローアップ研修）
「忙しくて研修会に参加できない施設がある。」
3. 施策報告
 - (1) 安心して暮らせる社会環境づくり
 - 人権尊重と心のバリアフリー（本会議中継手話通訳導入など）
 - (2) 社会参加を進める支援（教育、雇用・就労、スポーツ・芸術・文化）
 - (3) 日常生活を支える福祉（グループホームに助成 など）
 - (4) 保健・医療提供体制（歯科医療技術者の養成、発達障がい者支援など）
 - (5) 岐阜県福祉友愛アリーナ（障がい者は無料）
 - (6) 障害者虐待数（微増）
 - (7) 障がい者のニーズ調査
 - (8) 支援協議会の調査

課題 障がい者の緊急時・災害時の対応
医療未受診・中断者へのアウトリーチなど
関係機関の連携強化

●3月1日（金）

「知ってもらいたいころの病」講演会

岐阜ハートフルスクエアG 2階 大研修室

講師：森 敏幸（社会福祉法人 舟伏 副理事長・総施設長）

演題：精神障がい者の地域支援を考える

～舟伏の活動から、当事者が主人公に～

森施設長が福祉行政・福祉事業に携わってこられ、立ち上げられた現在の各種事業の実態を説明。常に当事者を主人公にした事業展開をしていきたい。

参加者：60名

●3月4日（月）

名古屋鉄道株式会社への運賃割引のお願い交渉

名鉄バスターミナルビ7F 名鉄本社

愛家連：高柳氏 名家連：堀場氏 みんなネット：木全氏 ぎふかれん：山田

名鉄：広報担当係長下須賀氏 と 広報担当チーフ吉田氏

家族会からの要望書を提出し、説明をする。「既に多くの第3セクターの鉄道やバスで実現している。大手私鉄では、西鉄が精神障がい者にも実施している。また、日本航空、全日空も実施することとなった。」

→「主旨は分かりました、上部に伝えます。」との一方的な説明に終わりました。

国土交通省からの割引運賃への協力要請がされているとのことでした。

なお、JR 東海へ、愛家連が代表して（JR 東海の意向）甲州・東海ブロックの愛知・静岡・三重・岐阜の各県連連名で要請文を提出しています。

なお、H30年12月11日中日本高速道路株式会社へ、また、JR 東海への要請文は、少人数での対応とのJR側の要望から、愛家連で対応いただきました。いずれも、上層部に伝えるとのことでした。

●3月11日（月）

◎第2回幹事会 10:00～12:00

・H31年度の会計

印刷機の購入 15万円 共同募金会より45万円

・ぎふかれん誌 今年度は3回発行

- ・「知ってもらいたい心の病」2回、福祉研修会1回の実施予定
7月 ボランティア協議会との共催 7月14日 大野町
9月 岐阜圏域 ミニ県大会的なことも考える。
1月 中濃圏域
- ・ぎふかれん総会 5月15日
- ・携帯電話の解約 (2019年4月1日～6月30日 無料解約日)を検討。

◎電話相談事業 レベルアップ研修会 13:00～15:30

岐阜県精神保健福祉センターから、市川直樹技術主査(医師)をアドバイザーとして、招請しました。

- 年金について、名古屋市精神障害者家族会編の『家族のための障害年金マニュアル「基礎編」及び「実務編」』で岐阜県が出している「岐阜県障がい者の手引」等を参考資料として勉強会を開催しました。

特に、年金受給決定に関わる医師の診断書について、患者側の切実な実態を医者側に伝える方法。等級落ちになる場合の実例などを詳しく学習しました。知っていたつもりが、以外と分からないことも多く、勉強になった。

- 続いて、電話相談での対応が難しい場面についての論議を深め、市川医師のアドバイスも頂きました。

- ・病院の先生との対話等相性が悪い場合には？
→ワーカーさんによく話したり、上手く行かない時は、病院を変える。
病院内には担当医以外の医師もおられるが、担当を変えられないか。
→無理だと思います。

心の病は、心の通じ合う先生でなければ上手くいかない。困ったことですね。

- ・電話対応で、回答が難しい場合は、「ぎふかれん」のPSW電話相談員(熊谷氏)に、また専門の相談員がおられる精神保健センターや、関係機関の紹介をしている。など。

なお、2月23日(土)に中谷先生(山梨県住吉病院院長)と有志との懇談会の席で、家族会(ぎふかれん)として何を行うべきかを問いました。是非「病院のランク付け」を行うべきとの進言をいただきました。自分たちが受診している病院で、「こんなひどい対応をされた」とか「長期間に渡り拘束された」とか「家族や当事者の話をとても親身になって聞いてくださる〇〇先生」等。皆さんからの情報をお待ちしております。

TEL/FAX:058-271-8169 E-mail:kazokukai@cameo.plala.or.jp

●3月19日(火)

平成30年度 岐阜県障がい者差別解消調整委員会 山田出席
15:00～16:00 岐阜県福祉・農業会館 5南会議室

議題：

(1) 障がい者差別解消支援センターの運営状況について

今村専門相談員から説明

・相談実績

相談分野：地域・教育・交通機関等幅広い問い合わせ

内容：民間事業所・市町村・県に関するものが多かった。

件数：28年度（76件）、29年度（131件）、30年度（190件）と倍増の伸び。

問い合わせ者の年齢：10代（8%）、20代（5%）、30代（13%）、40代（10%）、
50代（5%）、60代（8%）、70代（5%）と全年代からの問い合わせ。

対応：相談者への助言・調整（87%）が最も多く、関係機関への引継（4%）
は少なかった。

・岐阜県弁護士会との連携で研修会、懇談会、研修会を行った。

(2) 相談案件の4事例の紹介あり

○日帰り温泉施設での盲目当事者の白杖の使用が受付で持ち込み禁止となった。
ヘルパー同行であったが認めてもらえなかった。

→運営方針で決めている。安全を考えてのこと、対応が悪かったことについては、今後誠意を持って対応するとのことであった。入浴施設担当者から相談者に謝罪があった。杖を預かる件については「変えていくようにする」とのこと。

○家族3人でプールへ、子供が統合失調症でパニックになると困るから、夫が責任を取るよう念書を要求され、障がい者手帳のコピーを請求された。何日かたってからプールに行くと、別の受付の方が、コピーが欲しいと言われ、先日もコピーと念書を出したけれども、と言ったが、上司に確認しないと分からないなどと言われ、従った。対応には違和感を受けた。

→プール側に伝えた。プール側から謝罪があったこと、プール側から相談者に今後の対応や工夫も含め連絡すると伝えた。プール側から相談者宅に訪問があったが、文書の回答が欲しいとのことで、文書による謝罪が来たと相談者より連絡あり。

○発達障害のある娘の母親から、「3年前に原付免許を取ったが、その時、「てんかん」があるので、診断書を書いてもらい提出した。その中に、「アスペルガー」の記述があったため、その診断書が必要と言われた。「アスペルガー」の受診は何年も無いが、過去に診断を受けた医師に無理を言って書いてもらった。近く更新時期を迎えるが、更新の度に診断書がいるのは困る。診断書を書いてくれる医者がない」との相談。

→運転免許証相談担当者に確認すると、一度診断書を出してもらった人はずっと出してもらっている。どこかの病院で書いてもらってくれとのこと。ソウシャ

ルワーカーに対応を依頼したが、同じ結果。自身の勤務病院の先生に頼み、診断書を書いてもらった。

○車椅子の件で JR への乗車時、介助者 2 名がいたので、受付に行かずに改札口へ向かい電車に乗ろうとしたが、JR 職員は車椅子の方は、受付し、券をもらってエレベータを乗って欲しいと言われた。介護者がいる場合は、違う対応してくれればと思う。友人たちと車両が別々になった。

→安全確保のため、介護者がいても事前の受付をお願いした。車椅子の方が多いと同じ車両の乗車は無理の場合がある。

(3) 普及啓発等の取り組み状況

- ・研修の実施（市町村全圏域研修）

市町村担当職員研修、各市町村での研修、相談員・民生委員・児童委員研修・福祉関係機関・事業所等の研修。

- ・出前講座 29 件

この中に、ぎふかれんの電話相談事業レベルアップ研修も。

- ・その他 啓発チラシ等の配布など

○31 年度障がい者福祉関連の主要事業（案）の説明があった。

3 月以降の計画

月	日	行 事	場 所	対 応 者
4	22 (月)	みんなネット愛知大会 第 2 回実行委員会	名古屋市	山田
5	10(金)	幹事会		
5	16(木)	ぎふかれん総会	福祉・農業会館	
6	10・11 (月火)	みんなねっと総会	東京	
7	14(日)	「知ってもらいたい心の病」	大野町	